



「奄美群島世界自然遺産登録」応援推進ロゴ 特別塗装機の就航について

2013年11月 6日

日本エアコミューター（JAC、本社：鹿児島県霧島市）は、2016年を目標としている奄美群島世界自然遺産登録事業を応援するため、JAC運航開始30周年となる2013年12月10日より順次、特別塗装機17機を就航させます。

特別塗装機には、地元奄美市作成による“『奄美・琉球』を世界自然遺産へ”のメッセージを、お客さまがご搭乗の際に目に留まるエントランスドア付近に貼付け、JAC就航17地区で奄美群島世界自然遺産登録に向けたPR活動を支援してまいります。

JACはこれからも、就航各地で地域の活性化に貢献できるよう、努めてまいります。

特別塗装機の概要

- ◇運航期間：2013年12月10日（火）～2016年6月（予定）
- ◇就航地：鹿児島、奄美群島、種子島、屋久島、宮崎、福岡、松山、高知、徳島、出雲、隠岐、但馬、大阪 全17地区28路線159便
- ◇機材：ボンバルディアDHC8-Q400（7機）、SAAB340B型機（10機）
- ◇デザイン：以下のとおり（イラストはSAAB340B型機）
- ◇その他：就航初日の12月10日に、鹿児島空港と奄美空港にて、お披露目式を実施予定です。詳細については、別途、お知らせいたします。

